

2022.8.4 (木)  
第 5 回例会  
(通算3674回)

## 2022-2023 年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「創り出そう身近な奉仕を 友情、愛情 そして熱意で」

第85代会長 滝越 康雄  
副会長 清水 輝彦  
幹事 中島 政徳  
編集責任者 クラブ会報・雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 夜間例会 18:00  
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル  
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F  
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2022-2023 年度  
国際ロータリーテーマ



2022-2023 年度  
R1会長 ジェニアファー・ジョーンズ  
第 2500 地区ガバナー  
久木 佐知子 (旭川西 RC)

月間テーマ	会員増強・新クラブ結成推進月間
本日のプログラム	講師例会「Tsurui Sauna & Cabing で、ひがし北海道を熱くする」(担当：プログラム委員会)
次週例会	柔軟なイマジンと行動がクラブ存続の第 1 歩 (担当：プログラム委員会)

- ロータリーソング：奉仕の理想
- ソングリーダー：曾我部元親君
- 会員数 103 名
- ビジター なし
- ゲスト なし

### 会長の時間

滝越 康雄会長

時間が押していますので、お食事中でしょうけれどもじっくり召し上がってください。直近のロータリー活動の報告として、



7月30・31日に実施されました『全道中学硬式野球大会』は盛会のうちに終了いたしました。2日目にはなんと史上最高気温 33.5 度の猛暑の中、繰り広げられました。参加校は 10 校で、大会としては 12 回目の大会です。

私は、ガバナー補佐が旭川へ行っていましたので、やったことのない初めての始球式を 1 カ月前にガバナー補佐代理での命令がございまして、1 カ月間練習をして参りました。恥をかかないよう懸命の努力をして無事キャッチャーミットに収まって成功しました。

投げ方については小学校以来やったことがないので、中島徳政コーチのピッチング指導のおかげです。後に数字で見たら、マウンドからキャッチャーまでは 18.44m あります。それを知らずにいつも病院の跡地のコンクリート壁に 5～6 m 離れて練習をしていたので、実際に野球場へ行って試みる距離にはちょっと怖じ気づきましたけれども、ここを一舞台だと思って投げて、無事に終わって恥をかかずに済みました。

でも、受けた時は面食らいました。分区内に若手の会長・幹事がたくさんいらっしゃいますけれど、皆さんとてもいい理由で、結局、私とその厳命を受けて無事に終わりましたので一応報告します。

いまスポーツの話を上りましたが、スポーツの話の延長で、今日の話のデザートはゴルフの四方山話、スコアなどは関係なく四方山話をして時間を過ごしたいと思います。

私が持っている本 3 冊～4 冊から引っ張ってみました。

まず、「18 ホールの由来」は、セントアンドリュースのコースで、11 個のグリーンが 2 ホール共有ということで 22 ホールありましたけれども、19 世紀中になぜか 2 つのグリーンが市役所に没収されて 18 ホールになったという経過があったようです。

それと「ブービー賞」、これは私が得意ですけれども、ブービーとは英語の俗語では「ばか者」という俗語らしいですけれども、最下位の人をちょっと冗談交じりに言うということで、これが日本に伝わって、ビリだけ段々景品が豪華になってきました。優勝を上回るような景品になったので、わざと最下位が流行ってしまった。それで最下位から 2 番目をブービーとすることで、これは日本独自のものらしいです。

それから「ゴルフカップの大きさ」です。これは皆さんご存じの 4.25 インチ、108 mm。微妙な数字で誰かが精密に決めたとはいきや、ゴルフ場のグリーン

キーパーがサイズもまちまちで崩れるホールに頭を悩ませていて、ちょうどホールでメンテナンスの水道管工事をやっていて、その配管の切れ端をスポッと埋めたところから始まって、120年続いていることのようにです。精密も何もないのです。そこらの土管からきた108mmです。

ちょっと技術的になりますけれど、「ディンプルボール」です。ゴルフボールは凸凹しているじゃないですか。元々はツルツルのボールだったのですけれども、ゴルフ好きの方が何度も打っているうちに「傷ついたボールほど飛ぶ」ことが解ってきて、表面に刻み目を付けて打ったことから、ディンプルボール、いまのギザギザボールになったということです。あれがツルツルですと半分ぐらいしか飛ばないそうです。そういうことで、ゴルフボールのオリジナル的なところができたということです。

最後に「スコア」について話します。スコアは鳥に関する意味の言葉が1903年ぐらいから始まったということです。まず、第1発目がロングホールのパーが破られるとそれは、ボールが小鳥が飛んでいるような様子だったので、1打数減は小鳥という英語で幼児語で「バーディー」。2打数減が鷲のように飛んで行ったことで「イーグル」。3打数減は、飛行力が強いアホウドリを引っ張ってきて「アルバトロス」。4打数減は、私は初めて聞きますけれども「コンドル」というそうです。そして最後の5打数減が「ホールインワン」というところまででございます。

私の腕ですと7打数ぐらいあってもおかしくはないのですけれども、一応そのようなゴルフのルールの由来について調べましたのでご記憶ください。

以上でございます。ありがとうございました。

### 幹事報告 中島 徳政幹事

初めての幹事報告でございます。1年間よろしくお願ひいたします。

3点のご報告をさせていただきます。

1つ目は、久木佐知子ガバナーより公式訪問のお礼が届いております。ホワイトボードに掲示いたしましたので、ご興味のある方はご覧ください。

2つ目、8月のロータリーレートですが、133円で3円ほど高くなりましたので、ご報告いたします。

それから、事務局のお盆休みですが、8月10日から16日までをお休みとさせていただきます。本日、メールでも配信いたしますけれども、その間に何かございましたら私にご連絡をいただければと思いますので、よろしくお願ひいたします。

### 岐阜城ロータリークラブ 澤田 善吉様



岐阜城ロータリークラブから参りました。澤田善吉と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

私は、今年で米寿になりましたので、

88歳という年齢を重ねました。ロータリー歴は48年です。ちょっと記憶がないですが、当クラブさんへ毎年24年間来て、昨年と一昨年はコロナの影響でお邪魔できなかったのですが、3年ぶりにおじゃまさせていただきました。どうか皆さま、よろしくお願ひいたします。

### 新入会員紹介 スポンサー 白幡 博君

それでは、沢田和泰様をご紹介させていただきます。沢田さんは、NTTの前支店長池田いづみさんの後任ということで7月1日に着任されました。



小樽出身ということでございます。先ほどお話をしたら、7月1日に着任したばかりですので管内、もしくは市内がまだよく分からないということで、車が着いたと同時に探索を始めたということです。早く釧路に慣れていただければと思います。

ご家族は、奥様、そして長男、長女が札幌にいらっしゃいます。ですので、本人は単身赴任ということになります。皆さん、夜はお誘いの上よろしくお願ひいたします。

また、趣味はゴルフをされるということで、ハンデ34と聞きましたが、それを聞いた途端に私はひとつ思い出しました。以前、ウチの会員で石井支店長さんがいらっしゃいましたが、確か来た時はハンデが36ぐらいで、当時は結構握ったりしていましたが、3年近くいて帰るころにはハンデが確かシングル近くなりました。全員が総スカンというよりも総ナメで参ったような感じがしますので、沢田さんもぜひゴルフで皆さんと交流を図っていただければと思います。「なゆたの会」のメンバーの方々、よろしくお願ひいたします。

紹介者は、私と栗林延次さんでございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

それでは、早速、沢田さんからご挨拶を頂戴したいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

## 新入会員挨拶

NTT東日本 北海道東支店 釧路営業支店

支店長 沢田 和泰君



皆さん、こんにちは。ご紹介いただきました沢田和泰と申します。前任の池田はご紹介があったようにゴルフも上手で紅一点ということで

活躍をされたと聞いておりました、多少プレッシャーを感じながらということになります。まずもって、この歴史と伝統ある釧路ロータリークラブに入会できたことを非常に光栄に思いますし、感謝してございます。よろしくお願いいたします。

ご紹介ありましたとおり単身赴任で、週末によく車が来たのでウロウロしておりますので、ぜひ見かけた際はお声掛けいただきたいです。ゴルフのお話もありましたが、池田と違ってまだまだ腕が足りませんので、少し釧路で腕を上げていきたいと思っています。出身が小樽市で、同じ港町ですけれども全く地形が違う所です。小樽は山・坂の街でして、少しだけ自己紹介をさせていただくと、そのような山・坂の街で育ったこともありまして、私は小学校の時からスキーのジャンプを行っていました。実はNTT北海道にもスキー部がありまして、選手として何年かやらせていただきました。同世代には原田雅彦というオリンピックの金メダリストが1つ上の先輩で、1つ下の後輩には岡部・斎藤といった選手もおりました。途中までは一緒に肩を並べてやっていたつもりでしたが、いつの間にか大差ができて、世界に羽ばたく方と羽ばたけなかった方となって、いま仕事に精を出してこちら釧路に着任となっております。

何かスポーツに興味がありましたら助っ人待ちというところですが、ジャンプにも興味があれば何かお答えできることもあると思いますので、ぜひお声をかけていただければと思います。

今後、地域貢献で皆さまとも交流を重ねながら奉仕の精神で頑張っていきたいと思いますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

## 歓迎の言葉 滝越 康雄会長

沢田君、ご入会おめでとうございます。釧路ロータリークラブを代表して歓迎申し上げます。ロータリーはルールが非常に細かいのでその辺は失敗しながらも勉強をしつつ体験をして慣れてください。

例会により多く出席をしていただいで、早く馴染んで友情を深めていただければと思います。

7月から入会者が多くて、私もバッジを付ける際は手慣れてきた次第です。皆さんもこれに懲りず1人でも

多く。ご入会の方はスムーズに行っていますのでよろしくをお願いいたします。

沢田君の所属委員会は親睦委員会。横田委員長、おられますか、よろしくお願いいたします。以上でございます。

## ■本日のプログラム■

講師例会「Tsurui Sauna & Cabing で、ひがし北海道を熱くする」

プログラム委員会 小野寺 俊副委員長



皆さま、こんにちは。最近、色気づいて髪型を変えた小野寺でございます。プログラム委員会の今年度初の企画となっておりますので1年

間よろしくお願いいたします。

本日、ご講演いただく高井宗也様のプロフィールをご紹介します。

高井様は、1977年生まれで、現在44歳でございます。大学を卒業された後、いま釧路市のいろいろな街の方向性のコンサルティングもされております船井総研さんで大手企業等のコンサルティング業務を経た後、家業である木材会社の跡を継いで現在は不動産業、また家業の新木場・若洲地域の町おこし等さまざまな業務に携わっている方でございます。詳しくはお手元のレジメの裏面をご参照していただければと思います。

いま、鶴居村の奥の方で高井様をはじめ、本日お越しの板様から工事をいただいて、宿泊施設を当社で施行している関係でお知り合いになることができましたので付け加えさせていただきます。

それでは、本日の講演テーマでございます『Tsurui Sauna & Cabing で、ひがし北海道を熱くする』ということで、高井様よりご講演をいただきたいと思えます。

## 世田谷ロータリークラブ会員

東南木材株式会社代表取締役 高井 宗也様

今日は、よろしくお願いいたします。高井でございます。

「思ったより若いのね」というお声もいただきながらこのような風貌をしています。よろしくお願いいたします。

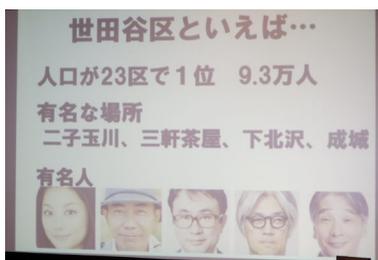


自己紹介ということで、高井宗也と申します。だいたい日曜日の夕方この人に似ているということが多くて、何となく顔を覚えられない時は春風亭昇太師匠

と覚えていただけたらと思っています。

本日は伝統ある釧路ロータリークラブ様に卓話の機会をいただき、本当にありがとうございます。ものすごく緊張をしていますが、頑張っていきたいと思っています。

本日の演題は『Tsurui Sauna & Cabing でひがし北海道を熱くする』です。1週間前に小野寺さんから「演題をどうしますか？」と聞かれて、こう付けさせていただいたところ暑くなり過ぎてしまいました。33.5度、釧路で記録を更新したそうで、私の演題のせいで少し暑くなり過ぎて、すみません、ご迷惑をかけております。



ちなみに、33.5度  
は釧路の皆さんに  
にとってはものすごく  
暑いことだと思います  
が、昨日、東京の  
夜 10 時で 33 度で  
したので、皆さんは

十分涼しいと思いますと思いながら過ごしております。

私は、東京世田谷ロータリークラブに所属しておりますので、どのようなクラブかをご説明させていただこうと思います。創立 60 年です。会員数 41 名で、こちらの半分以下です。私はまだ 1 年目です。

祖父は京都でロータリーに入っておりました。皆さまの中には 40 年以上やっている方もいらっしゃるのですが、私はまだ 1 年目のロータリアンなので、まだまだヒヨッコでございます。

東京世田谷というと「どこ？」とよく聞かれるので、世田谷区を少し説明したいと思います。東京 23 区の左隅が世田谷区です。人口が 23 区で一番多くて 90,000 人います。釧路の 3 分の 2 です。有名な場所は、二子玉川・三軒茶屋・下北沢・成城という所が有名です。有名人は小池栄子さん・木梨憲武さん・三谷幸喜さん・教授（坂本龍一）・マチャアキ（堺正章）さんあたりがご在住です。ただ、この有名人よりももっと有名な人がおります。皆さんご存じだと思いますが、サザエさんの作者の長谷川町子さんが世田谷区桜新町の出身で、サザエさんは桜新町が舞台なのです。

いまはこのように発展しています、左上が二子玉で楽天の本社などもあります。左下が三茶だったり、右下が下北だったり、右下は成城ということで結構発展していますし、若者の街だったりもします。

昭和 44 年がサザエさんの話なので、その時はまだカツオが近くで野球をしても大丈夫なぐらいの場所だったということです。いまはこのような場所になっています。

昨日、私は世田谷でロータリーに出席しています、渋谷のエクセルホテルで行っております。もし皆さま

が東京にいらっしゃる際には、ぜひお越しいただければと思っています。

私は、木材屋です。木材屋ってどこのですけども、木材屋を世田谷でやっているわけではなく、（東京の）右下にある江東区でやっております。江東区はあまり有名ではなくて、23 区の人に話しても「ほぼ千葉でしょ」とみたいな感じの雑な扱いをよく受けております。豊洲であったり、最近ではオリンピックの時にできた辰巳の水泳競技場があたり、オリンピックは 23 競技やったのでオリンピックでは一番来ている所ですけども、まだまだ都内での認知度は低いです。千代田区に皇居があり、あそこは江戸城だったので、その左側を城西地区・南側を城南地区・上を城北地区といい、私たちは城東地区です。城東の辺りには隅田川が中央区と江東区の間を流れていて、下町ですけども川の向こう側を「川向かいの人たち」というように冷たい扱いを受けております。私は祖父から数えて 3 代目で、東京に住んでおりますので江戸っ子でもあり、この辺りの都内ですとずっと過ごしたことになります。

江東区の右下の所に欠けているカギカギカギとなっている所が新木場で木材屋を祖父の代からやっておりました。カギカギの所が、左側は 1989 年の写真ですけど、結構木材がたくさん浮かんでいます。右側が最近 2019 年の航空写真ですけども木材は全く浮かんでいません。

人件費が高かったり、後からこっちに集められたけれどやっぱりうるさいということで騒音の問題などあったり、いろいろな影響もあって、江東区の私がいた新木場は木の街からいまは物流の街です。銀座まで車で 20 分で行けるといって物流拠点としてはものすごく良いですけど、木材屋をやるには向いていないということで、私は子どものころからいつか父の木材屋を継ごうと思って木材屋は継ぎましたけれど、木材の事業は継げなかったという感じです。いまは、不動産の賃貸であたり仲介の仕事もして、半分は不動産の仕事をしております。

私なりのロータリーの精神である奉仕という意味で、野球をずっとやっていたので、地域貢献活動は 1 年前から子どもたちが野球を始めたこともあって、子どもたちと一緒に毎週の土日はパパコーチをやっています。左下の写真などを見ると、誰も私の話は聞いていないことを実感しながらちょっと悲しい気持ちになっておりました。

私のライフワークは、不動産がひとつありますけれども、ずっとマーケティングのことをやっておりましたので、自分の中では社会問題をマーケティングの力で解決することができたらいいなと思って日々活動しております。

立ち上げたものの一覧をみると、上の方はサラリーマン時代にやったものが多いので、どちらかというと

自分の志というよりは、会社から言われてというところでした。真ん中から下半分は自分で「このような問題があって、このような得意な人がいるから、それをビジネスにしたら面白い」と思って立ち上げてきました。

船井総研時代から新規事業の立ち上げを自分でやりたいと思っていましたし、それを得意にしたいと思って



いたので、少しずつお仕事を頂いたり、自分で作ったりしてきたような感じ

です。新卒で船井総合研究所というコンサル

ティング会社に入って、いまは亡くなった船井幸雄会長から教わった「自分の中の一番のノウハウとは何か」と思うのですが、企業を伸ばすには時流適応、ブームになっているものや乗っているものをするか、何かで一番になるしかない。「マーケティングが一番探さだ」、どんなマーケティングの本にもそう書いてあると思います。「何で一番になるかがすごく大事で、時流適応が一番大事」と学んできました。

時流というとなかなか難しいので、私の中では社会問題やお困りごと、「最近、困っているよね、これ」みたいなことは「時流」だと思っています。「一番化」は何かで一番になることです。そのため、私は、いま世の中の社会問題やお困りごとと誰かの長所を組み合わせるとビジネスになるのではないかと常に探していて、それをマッチングして世の中に出すことがお役立ちができるればと考えています。

例えば、メンタルヘルス。いま、すごく社会的な問題になっていて、テレワークが進んでさらに増えてきているみたいです。これは「心の病気の患者数の推移」という数値を厚生労働省が出しています。「メンタルヘルスに悩む人はいま 700 万人ぐらいいる」と言われています。「6 人から 7 人に 1 人がうつになったことがある人」と言われます。「20 人に 1 人は、いまうつの人」と言われますので、この会場もこの計算でいくと 3 人がうつということになってしまいます。まあ、この会場にいる方は大丈夫そうですね。そのような時代で、なったことがあるのが当たり前みたいな時代なのです。

札幌大学を出られて、いまは東京で精神科医をやっているいらっしゃる樺沢紫苑先生、YouTube などで日本で一番アウトプットしている精神科医の先生です。私は以前、この先生のお話を聞いて、先生のノウハウがすごく、実際にメンタルヘルスが良くなります。一番のノウハウはすごく簡単で、「睡眠をしっかり取りましょう」ということ。睡眠は 7 時間 30 分以上取らなければいけません。6 時間ぐらいで 1 週間で過ごす

と日本酒を 2 合飲んだ時と同じ判断力になります。ですから、常に睡眠はすごく大事です。あと、運動。1 週間で 20 分以上の強度のものを 2 回。それと朝の散歩で、5 分から 10 分でいいから歩くだけ。その 3 つだけでかなり精神疾患は減少します。

そのようなノウハウがありますけれども、それを記録しないと分からなくなるので、それを記録するアプリを作ることやらせていただき、いまこれを 10,000 人ぐらいの方に使ってもらっています。

このようなことのマッチング、社会問題と長所の間を私が繋いでいます。

もうひとつが、いま皆さまのお手元に配らせていただいた『サムライサウナ』というサウナです。私はもともと木材屋が家業でしたけれども、日本の木材はものすごく使われていないのです。日本は、世界で 2 番目の木材国で森林資源を持っている国ですけれども、木材が全然使われていない。理由は、木を切った人が全然儲からないからです。右側がアメリカや海外のもので、オレンジのバーは結構長くないですか。左側の 4 つは日本ですけれども、あれは日本の森林に返るお金なのです。カナダやアメリカは 10,000 円の木を切るとで森に 4,000 円が返ってきます。ですが、日本は一番低い和歌山だと 1,200 円しか返って来ません。それでは切らないですよ。また、植えようという気にもなりません。ということが問題で、木材の流通がなかなか進まないことがあります。

今日、来ている板君が鶴居村で自分が行っている民泊事業でこのようなロシア産の木材を使って作ったバレルサウナがあります。これは釧路クラブの八幡さんもお手伝いをいただいたと聞きました。

私はいままでサウナが嫌いでした。私はおじさんですけど、おじさんの裸が嫌いで、あまりおじさんの裸は見たくないのです。おじさんがバーツとなっている所はすごく苦手だったんですけど、プライベートサウナ、自分たちだけや仲間内で入るサウナはすごく良かったです。

作ったバレルサウナに入って、これを出た後に板さんが「これ、実はロシア材なんですよ」という話になって、その時出ているプライベートサウナはだいたい海外の材だったのです。だけど、日本のような森林国でわざわざ木を持って来るのは悔しいということになって、「だったら国産の物ものを作ろう。どうせだったらデザインをパクるの嫌だから五角形にしようぜ」となって『サムライサウナ』を作らせていただきました。

さて、このようなことをしている私が、鶴居村と出会ったのはコロナウイルスでなかなか出られなかったお陰なのです。船井総研時代の上司が板君と私の共通の上司ということで板君とは少し知り合いではありまし

た。その板さんが2年前にコロナになった時、東京に住んでいましたけれど「仕事はテレワークのできるから、鶴居村に引っ越す」と言って引っ越しました。そして、「実は、家を買ったんですよ」と、鶴居村で買った家を写真で見せてくれました。鶴居村役場から徒歩1分です。大通沿い。セイコーマートが近く、150坪、建物20坪、How Muchと書いてあります。いくらかは板さんに聞いてもらえばいいのですけれども、こちらで購入をしたその金額に私は結構驚いて、ちょっと不動産をかじっている者からすると「そんな値段で買えるの、何それ」みたいな感じで、鶴居村に行くことになりました。それがちょうど2年前です。

鶴居村へ行ったら、板さんが「平田牧場に行ってみませんか」となって。平田牧場は、東京都内で『平田牧場』というとんかつ屋がありますから、とんかつ屋に行くのかなぐらいな感じでした。それで、平田牧場に行ったら、『私の中で人生を変えた一瞬』と書いてありますけれども、その一瞬が起きました。

(動画を見ながら) 左側の帽子を被っている人が平田さんで、この方が「平田牧場まで一緒に歩いて行こう」と言って、東京の経営者2人と一緒に歩いて行きました。そうしたら、『ポー ポー ポー』と言えようちの馬が出てくるから『ポー ポー ポー』と言って』と言われて、「ポー ポー ポー」と林に向かってずっと言っていました。いやいや、そう言ったって来るわけないでしょと思っていたら、何か地響きがしてきて馬がワーッと走って来てくれました。

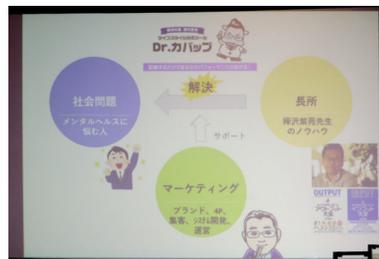
平田さんの所は50頭の馬をこの時期は放牧に出していて、なついているからかブワーッとやって来て、それも馬は重いからすごい地響きで、歓迎をしてもらった感じがすごく「何だこれ」みたいな、馬揃えですかね、何か分からないですけども。すごいなと思ったこの瞬間がいまでも記憶に残っています。この瞬間があって、「何、これ」みたいだったのです。

この平田牧場は135区を平田さんがお持ちで、ディズニールンドでいうと3個分です。この中に牧場もあるし、支雪裡川も流れているし、湖みたいなものもあるし、すごく豊かな所です。大きさが135区、皆さま方の言い方だと135町歩かもしれませんが、縦でいうとこのセンチュリーキャッスルホテルからイオン釧路までです。それが135区です。平田さんの家はさらに広くて、お兄さんの土地を合わせると400区あるのです。大きさでいうと釧路中央インターチェンジまで全部平田さん家です。これはピンと来ないのです。東京で話すと日比谷と銀座を足したぐらいと言ってもピンと来ませんが、ピンと来ないぐらい広いという話です。

これはすごい所だな。そこにご夫婦2人で住んでいるわけです。信じられんと思って平田牧場に行ったあと帰りの飛行機に乗ってから、その景色が目から離れ

ませんでした。

自分一人で感動しても仕方がないので、翌月に家族旅行で再訪、家族を連れて来ました。そうしたら、書いたとおり長男がAIRDOが飛び立つ瞬間に「東京に帰りたくない」と泣いたことがあって、これは自分自身も釧路・鶴居村にはまろうかと思ってはまりました。



それから丸2年で私が釧路・鶴居村に来ること、今日で21回目です。そろそろAIRDOかJALから表彰されてもいいのではないかと

思っています。

来させていただいて、ひがし北海道がスペシャルなのか、平田牧場がスペシャルなのか、これだけ私を魅了するものは何かと考えたのですが、これら全部がいるのだと思います。私にとっては釧路と鶴居村と平田牧場の3つ、この3つですごい魅力になっています。鶴居村という意味でいうと、板さんのご夫婦だったり、板さんのお母さんがネイチャーガイドを鶴居でされていらして、私は釧路湿原も5回～6回歩かせていただきましたけれども、こういったことも、ものすごく自分にとっては縁ですし、また、平田さんご夫婦からいろいろなことを教えていただくことで、自分自身は、ずっと東京に住んだ人間からすると「田舎ができたという感じです」という人。

もう1つが、やはりこの釧路の街です。湿原もそうですけどもこの釧路の街が発展していることが都会者にとっては「来る安心感」です。田舎だけあっても怖くて、「車で40分走ればイオンがある」というこの安心感。「飛行機は1日7便飛んでいる」というこの安心感。「大きな病院も最悪ありますよ」というこの安心感。これが私にとってもものすごく大事なのです。ですから田舎もあるけれど、ちょっと行けば釧路の街がある。鶴居村から見ると釧路はいつもすごく明るく輝いていますけれども、少し困ったらあそこがあるということが都会者にとっては素晴らしいです。(写真で京都の金閣寺の写真をみながら) 右上に金閣寺がありますけれども、これは衣笠山との借景と言います、奥行という意味だと思えますけれども。私にとっては、釧路が奥行になって鶴居村が魅力的になっている。釧路からすると、もしかしたら鶴居村や釧路湿原が借景になっているかもしれませんが、そのように補完し合うものなのかと思っています。

話が変わるかもしれませんが、『タイパ』という言葉をご存じですか？。最近売れている本、話題になっている本で、『映画を早送りで観る人たち』という新書です。最近、皆さんも映画やドラマを観るかもしれませんけれど早送りでご覧いませんか。娘さん・息子

さん・お孫さんが、もしかしたら皆さんも、そうかも  
しれませんけれど。

最近の映画は、とりあえず話題についていくことが大  
事なので、映画をきちん観ないのですよ。そりゃ観た



いものは観るけれど  
も、そうではないも  
のはだいたい1.5倍  
速や2倍速で観ると  
か。もっと酷い人は  
1話目を観た次に最  
終話を観て、面白い

と思ってから間を観るといふそんな時代です。それく  
らいタイムパフォーマンス(タイパ)ですね。時間  
に対しての効率を考えていて、それに反面して先ほどの  
うつの問題もありますけれど、疲れる人たちが増えて  
いると思っています。

私、東京に住んでいますけれど、下町ですと自分の  
いる街ですけど、やっぱりこの釧路や鶴居村を知  
ると、人が多過ぎるのです。快適なのですけれど、風が  
気持ち良くないのですよ。街は明るいですが星空  
は見えないのです。私、初めて釧路へ来た時に星がこ  
んなに見えるので、何か降ってくるのではないかと  
思いました。賑やかですけど静けさはないし、便利  
だけど楽しさがないし、安全ですけど動物とのふれ  
合いはないし、暖かいですけれど涼しさはないです。  
やっぱり、東京にあって釧路にないもの。鶴居村に  
ないものがはっきりあると思っています。ウチの妻は暑  
さが苦手なので「釧路来るとすごくストレスがない」  
と言っています。エアコンを付けなくて良いというこ  
とですね。

いま釧路の街はいろいろなことでマーケティングされ  
ていると思いますが、中長期の滞在をする癒やしの街  
としては本当に良い街だと思っています。いまスト  
レスの問題を抱えている人は多いですけども、寒いと  
か涼しいとかそのような意味でもすごく鶴居村や釧路  
の街は良いと思っています。「暑いから夏だけ来て、  
漫画を描いている漫画家さんがいる」と以前お聞き  
したように思っていて、そのような方にとっても良い  
のだろうと思っています。

最後に自分自身がこれからやろうと思って、いま小野  
寺組さんに作っていただいている建物の話もさせて  
いただこうと思っています。

「Tsurui Sauna & Cabins」を作ろうと思っています。

はじめは、平田牧場の平田さんと仲良くなって、初  
めの1カ月~2カ月目に「牧場の中に別荘を作らせて  
ください」とお願いをして「作ってもいいんじゃない  
の」となりました。しかし、別荘を建てて自分たちが  
いる時以外は誰も使わないと鶴居村のためにもなら  
ないし、平田さん寂しい。だったら民泊にしよう、い  
ろいろな人に使ってもらおう。そうしたら宿泊も増えて、

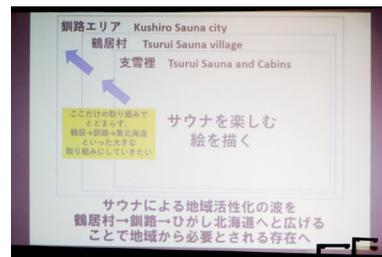
食事の売り上げも増えるから鶴居村にとっても良いと  
思いました。

はじめは、BESS(ベス)というすごくかっこ良い建  
物を建てようかと思いましたが、どうせ建てるなら北  
海道らしい建物、自分たちが思う勝手な理想のもの  
を作りたいと思ったけれど、それだけでは足りない  
と思って「Tsurui Sauna & Cabins」を作るところまで行  
きました。21回、来る度に変わりました。

これは私の拙い絵で申しわけないですけど、  
『Tsurui Sauna & Cabins』はこのようにしたい。左前  
の所には、いま「マナミキャビン」という板君がやっ  
ている民泊、そこにバレルサウナがあって、その奥の  
左上にあるのは板さんの別宅の車庫をいまガレージサ  
ウナにしています。右側に丸っこい半円形のかまぼこ  
状の物が、いま小野寺組さんに建てていただいている  
建物です。その横に、今回私たちが企画している「サ  
ムライサウナ」を置いて、川の横でテントサウナがで  
きたらいいみたいな、そんなエリアを作りたいと思っ  
ています。

なぜ、サウナに注目したかという、いろいろなアク  
ティビティーがありますが、調べると北海道のどこ  
でもできるな、一番になれるな、と思いました。

いま『サ旅』という言葉があって「サウナー」とい  
う人がいます。月に1  
回以上サウナに行く  
人がサウナーです。  
データを取ると8  
00万人ぐらいます。  
このヘビーとミドル  
という人が月に1回



以上サウナに行く人がこれだけいて、「サ旅」をJ  
A Lがいま推している、これだけ行ける旅があっ  
て。板君はサウナクリエイターなのでいろいろなサウナを  
作っているの、板君にいろいろなサウナを作ってもら  
おう。2km圏内で、かつ薪でいろいろなサウナに入  
れる場所がありません。サウナの事業をして分  
かったことは、東京近郊は防火の問題で薪のサウナは  
作れません。でも薪サウナはやっぱり気持ちいいので、  
薪サウナが体験できる場所はここしかないの、先ほ  
どの「一番」になれるのではないかなど、このような  
企画にしたら面白いのではないだろうかと思ってい  
ます。

このサウナを中心にすれば、先ほどのご飯の他にもあ  
りそうな「サウナの間でゴルフへ行く」「サウナを楽  
しむためにカヌーに乗る」など、サウナを間にしてし  
まういろいろなものももっと魅力的になるのではな  
いかと思っています。最高のサウナ体験を提供する場  
所ということでいくと「北海道のどこでもではなく、  
ここでしか楽しめないもの」ができるのではないかと  
思っています。サウナを中心にひがし北海道の魅力に

触れてもらえるきっかけにしたいと思っています。

お手元の資料にバタフライ・エフェクトと書きました、とは言っても私たちのこの企画は投資額で1億円ぐらいの話なのでたいして大きくないですね。この鶴居の支雪裡の奥の所でこの「Sauna & Cabins」をやって、それ以外にいまかなりサウナが鶴居村でも増えてきているし、釧路にもちょっとずつサウナが増えてきています。

やっぱりサウナは寒い所の方が気持ちいいので、寒い所の良さを活かしてサウナを楽しんでいただいて、それ以外の食事などの魅力も楽しんでいただければひがし北海道・釧路の良さも理解してもらえるし、その小さな火種になると、呼び水になればいいと思っています。

いま、小野寺組さんに作ってもらっているものが、このかまぼこ状の建物です。私たちの中では、このD型ハウスが夢の宝箱のように見えています。北海道の人が見ると「D型でしょ」みたいな感じかもしれないですけど、都会の私たちからするとこれはすごくワクワクする建物で、これをこのような建物にしてやっ

てみたら面白いのではないかと企画をさせていただいています。

小野寺さんすみません。いいものを作ってください。よろしくお願いします（笑）。

この秋、9月か10月ぐらいにオープンする予定です。板さんは、鶴居村にずっといますので、ぜひサウナに入りたい方はお声がけいただけるとありがたいと思います。まず一度遊びに来ていただいて、「何か面白そうだからぜひ協力するよ」とお声がけいただけるといいなと思っています。

このような事業がうまくいくかどうかは、最終的には地域のこちらにいらっしゃる皆さまのご協力があるとのことだと思います。成功を目指してがんばりますので、何卒ご協力いただければと思っております。

駆け足で申し訳ありませんが、以上で私の講演とさせていただきます。

ご静聴ありがとうございました。

## 本日のニコニコ献金

■荒井 剛君 20年振りに湿原マラソン 10Km を完走しました。

今年度累計 48,000 円